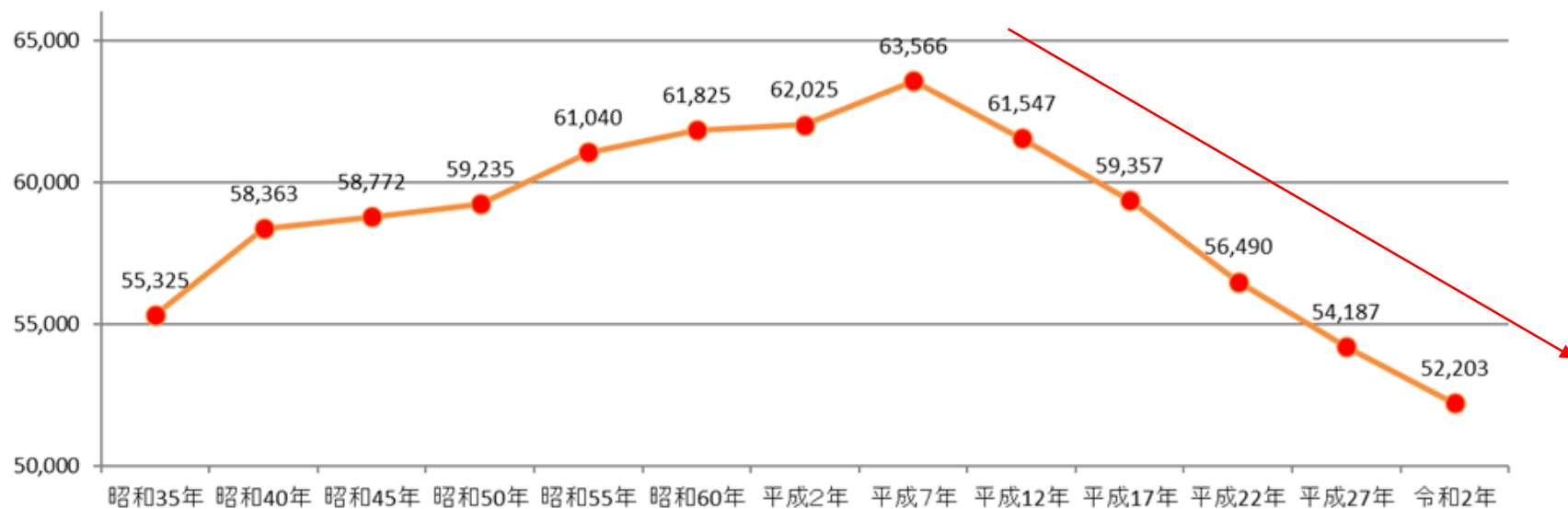


人口動向について

塩竈市の人口は、平成7年の63,566人をピークとして減少が続いており、令和2年は52,203人とピーク時から17.9%減少しています。

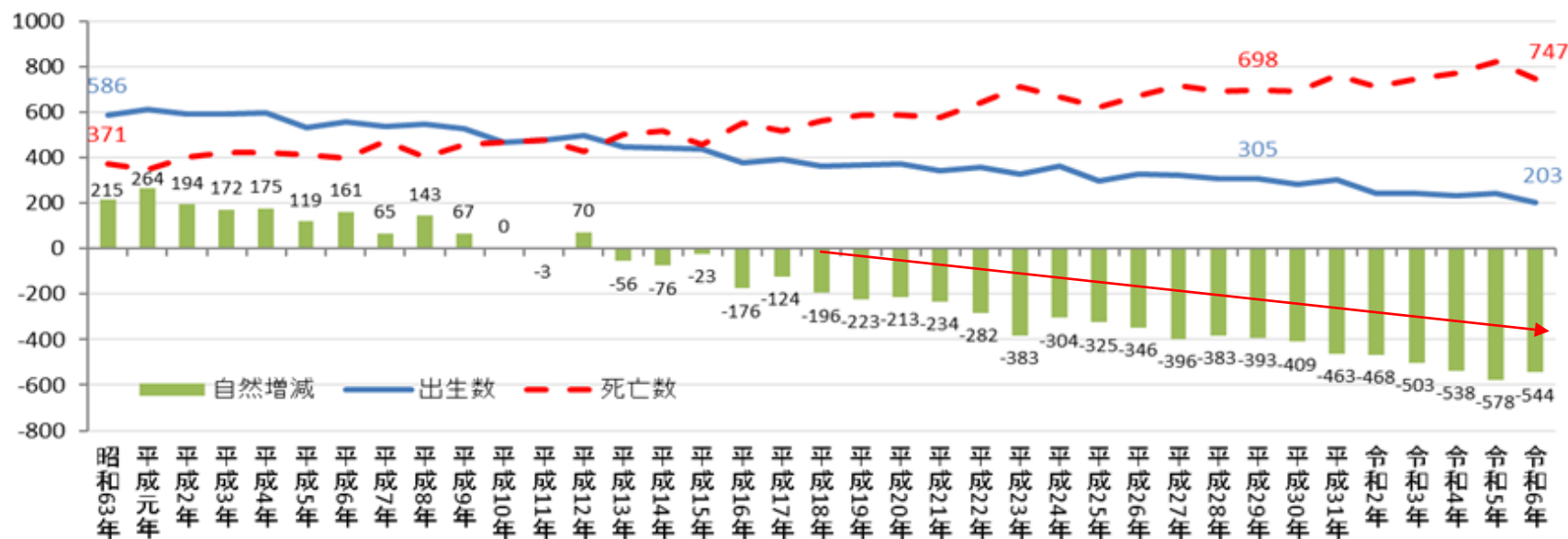


資料：国勢調査（各年10月1日現在）

3. 人口と産業の動向（抜粋）

人口動向について

自然増減については、平成13年以降、死亡者数が出生者数を上回る自然減の状態が拡大傾向で推移しています。



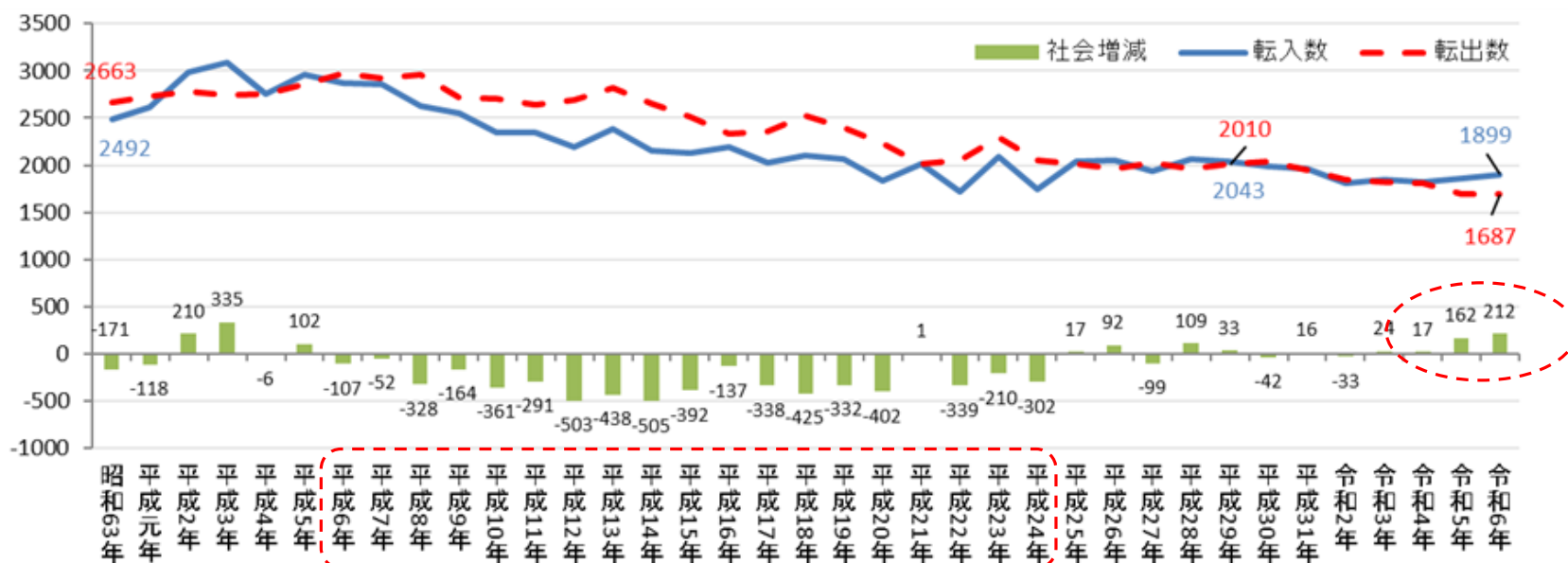
資料：塩竈市統計書（～平成29年、各年12月末現在）、住民基本台帳年報（平成30年、12月末日現在）、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」（平成31年～、各年1月1日現在）

※ここでの自然増減とは、出生者の総数から死亡者の総数を引いた数値を示します。

3. 人口と産業の動向（抜粋）

人口動向について

一方で、社会増減については、平成6年から24年まで、転出者数が転入者数を上回る社会減が続いていましたが、平成25年以降、社会増減を繰り返し令和5、6年は社会増が100人を超えています。



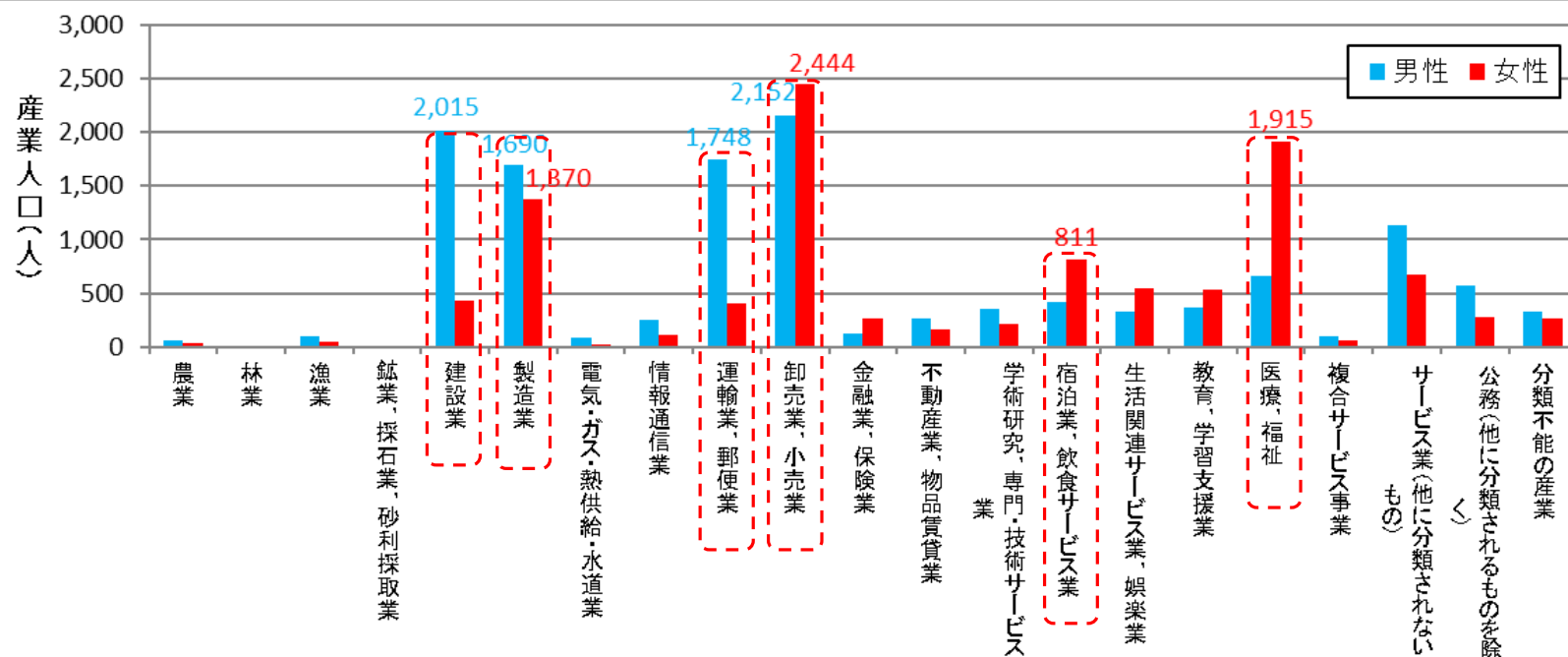
資料：塩竈市統計書（～平成29年、各年12月末現在）、住民基本台帳年報（平成30年、12月末現在）、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」（平成31年～、各年1月1日現在）

※ここでの社会増減とは、地域の間の出と入りを示す数値で、塩竈への転入者数と、塩竈市からの転出者数を差し引いた値を示します。

3. 人口と産業の動向（抜粋）

産業動向について

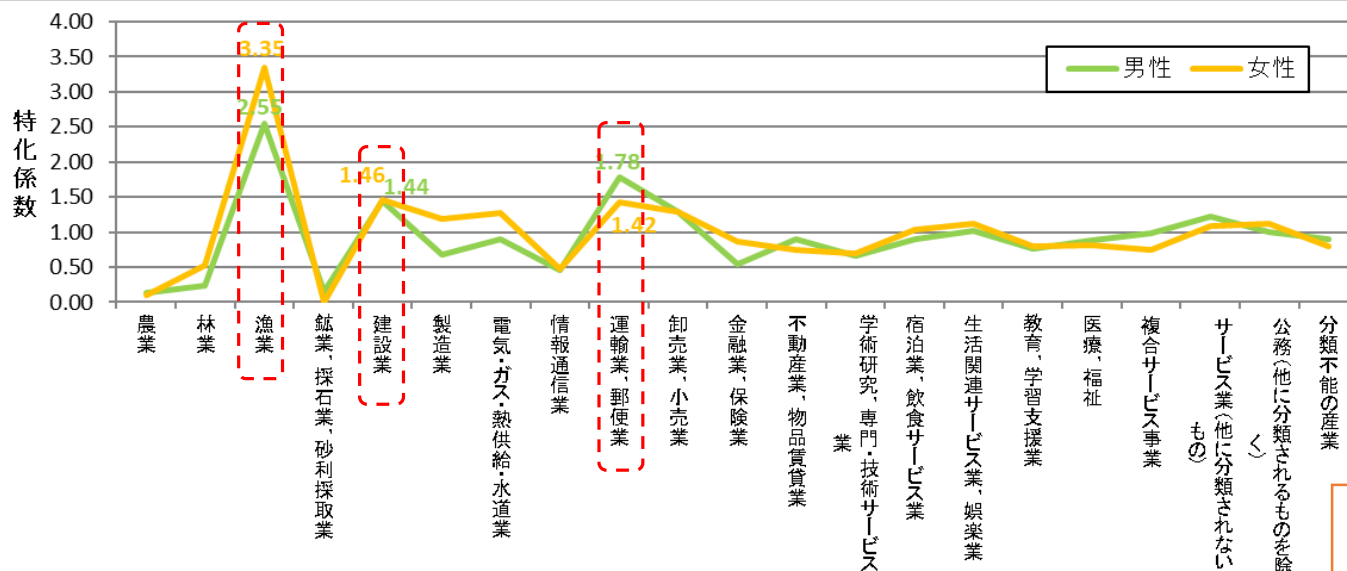
塩竈市の男女別産業人口をみると、男女とも、卸売・小売業の就業者数が特に多くなっており、次いで、男性では建設業、製造業、運輸業・郵便業、女性では医療・福祉、製造業、宿泊業・飲食サービス業が多い傾向にあります。



資料：国勢調査（令和2年10月1日現在）

産業動向について

地域の中で、特化係数（※）が高い産業は得意な産業であり、比較優位な産業ということになります。塩竈市では「漁業」が男性で3.55、女性で2.55と最も高くなっています。また、男女とも「建設業」「運輸業・郵便業」の特化係数が比較的高く、これらの産業の特徴を生かして、地域産業構造を構築していくことが重要となります。



資料：国勢調査（令和2年10月1日現在）

※ここでの特化係数とは、塩竈市の産業別就業者のシェアを全国の産業別就業者のシェアで除した値で、「1」より高いと塩竈市の産業別就業者のシェアが全国よりも高く、塩竈市の比較優位な産業であることを示します。